

I. 恵みとは、神ご自身がキリストの中でその霊として私たちに与えられ、私たちによって得られ、私たちによって享受されることです。神の恵みの福音とは、恵みの執事職であって、神を人々の中へと分与して、彼らの享受とならせることです：

ヨハネ1:17 律法はモーセを通して与えられたが、恵みと実際はイエス・キリストを通して来たからである。  
使徒20:24 しかし、私が自分の行程と、主イエスから受けた務めを全うして、神の恵みの福音を厳かに証しするためには、自分の命を尊いとは思いません。

エペソ3:2 あなたがたのために、私に与えられた神の恵みの執事職について、あなたがたは確かに聞いていますことでしょう。

A. キリストの中で私たちに与えられた恵みは、この世が始まる前に私たちに与えられました。

Ⅱテモテ1:9 神は私たちを救い、聖なる召しをもって召してくださいました。それは私たちのわざによるのではなく、彼ご自身の定められた御旨と恵みによります。キリスト・イエスの中で、もろもろの時代の前に私たちに与えられていたこの恵みは、

テトス2:11 すべての人に救いをもたらしている神の恵みが現れました。

B. 初めからおられた神は、時間の中で肉体と成って、人が受け入れ、所有し、享受するための恵みとなりました。そして神を、接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができるものとなりました。

ヨハネ1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。16 私たちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた。

三一の神が経過した手順のうち最初の、最大の一步は、肉体と成ることでした。初めにおられた神は、時間の中で肉体と成りました。それは彼が人々の間に幕屋を張ることでした。このようにして彼が人々の間に来ることは、恵みに満ちていました。そして私たちはみな彼の豊満から受けました。彼が来たのは、私たちが恵みを受け、恵みの上にさらに恵みを受けるためでした。彼が来た時、恵みも来ました。…実は、恵みとはイエスです。イエスが来た時、恵みが来ました。これは三一の神が神性をもって人性の中へとミングリングされて、神・人となることです。そのような方が、私たちが私たちの供給として受け入れ、享受し、経験する恵みです。これが主の真の救いです。

C. 私たちの主イエス・キリストの恵みは、三一の神(彼は、御子の中に具体化されており、命を与える霊として実際化されています)の満ちあふれる供給であり、私たちの霊を活用することを通して、私たちによって享受されます。ガラテヤ6:18 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にありますように。アーメン。

D. 日々、驚くべき神聖な伝達が起きているべきです。神は、恵みの霊をあふれるばかりに供給しています。私たちは絶えず、恵みの霊を受け入れ、分与しているべきです。

ヘブル10:29 まして神の御子を踏みにじり、自分を聖別した契約の血を俗なものと考え、恵みの霊を侮った者は、どれほどの重い刑罰に値すると思いますか？

ガラテヤ3:5 それでは、彼があなたがたにその霊をあふれるばかりに供給し、あなたがたの間で力あるわざを行なっておられるのは、律法の行ないに基づいているのですか、それとも信仰を聞くことに基づいているのですか？

E. 日々、恵みを受けて、私たちが恵みを流し出す道は、霊に戻り、霊を活用して、主に御座に着いていただくことです(詩歌557番)：

1. 恵みの御座は、私たちの霊の中にあります。私たちは満ちあふれる恵みを、私たちの内側の諸部分の中に受け入れる必要があります。それによって恵みは私たちの内側で王として支配し、私たちは命の中で王として支配し、サタン、罪、死に打ち勝ちます。

ヘブル4:16 ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか。

ローマ5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。

2. 私たちは、霊に戻って主の御名を呼び求めることによって、恵みの御座へと来るときはいつも、主に御座に着いていただき、彼に私たちの内側でかしら、王、主となっていていただくべきです。

エペソ6:24 不朽不滅の中で、私たちの主イエス・キリストを愛するすべての人に、恵みがありますように。

3. 神の御座は、流れる恵みの源です。私たちが主を御座に着けず、主を御座から降ろすときはいつも、恵みの流れは止まります。

啓22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。

4. もし私たちが、私たちの内側で主イエスに御座に着いていただくなら、その霊は生ける水の川々として、恵みの御座から流れ出て、私たちを供給します。このようにして、私たちは恵みを受け、恵みを享受し、そして恵みを他の人たちに供給します。

ヨハネ7:37 祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って叫んで言われた、「だれでも渴く者は、私に来て飲むがよい。38 私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。

F. 日々、恵みを受けて、私たちが恵みを分与する道は、血、言葉、その霊、召会を通してです：

1. 贖いの血、契約の血、神ご自身の血は、罪深い、腐敗した人々を、神の永遠の享受の中へともたらしめます。

使徒20:28 あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧養させるのです。

ヘブル10:19 兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。20 それは、彼が私たちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです。

1ヨハネ1:7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。9 もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

2. 神の言葉は、私たちによって食べられて、彼の恵みの言葉となり、私たちの心の楽しみと喜びになることができます。

エレミヤ15:16 あなたの言葉が見いだされて、私はそれを食べました。あなたの言葉は私にとって、心の楽しみ、また喜びとなりました。エホバ、万軍の神よ、まことに、私は、あなたの御名によって呼ばれているのです。

ヨハネ6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

エペソ6:17 その霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんなときにも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。

3. 恵みの霊は、手順を経て究極的に完成された神の満ちあふれる供給として、歓喜の油であり、それをもって私たちはキリストのパートナーとして塗られます。

ヘブル1:9 あなたは義を愛し、不法を憎まれます。それゆえに神、あなたの神は、歓喜の油を、あなたのパートナーにまさって、あなたに塗られました」と言われます。

ゼカリヤ12:10 私はダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぎ出す。…

4. 神の召会は、新鮮な、また活気づける神の恵みを、下ってくる露として経験します。この露は、神の深い同情を通して天から私たちに臨み、私たちに水を注ぎ、私たちを造り変えます。

詩133:3 また、ヘルモンの露がシオンの山々に下って来るようだ。まことに、エホバはそこに祝福を命じられた。すなわち命を永遠まで。

哀3:22 私たちが滅ぼされないのは、エホバの慈愛である。まことに、彼のあわれみは尽きることがないからだ。23 それらは朝ごとに新しい。「あなたの信実は偉大です。

聖徒たちが共に集まって召会生活を実行する時はいつでも、主の臨在の新鮮さ、新しさ、爽快にすることがあるはずで

II. パウロは彼の務めにおいて、神の恵みの福音を厳かに証して、神を人々の中へと供給しました。パウロは彼の文書の中で、神の恵みが何であるかを私たちに明らかにしています：

使徒20:32 今私は、あなたがたを神と、神の恵みの言にゆだねます。その言はあなたがたを建造し、また聖別されたすべての人の間で、あなたがたに嗣業を与えることができます。

A. 恵みとは、神の訪れであり、人の中にとどまり、人の中で生まれ、人と一になります。

ルカ1:28 御使いは彼女の所に来て言った、「喜びなさい、あなたは恵まれています！主があなたと共におられます」。30 御使いは彼女に言った、「マリアよ、恐れてはなりません。あなたは神の御前に恵みを得たからです。

マタイ1:18 さて、イエス・キリストの由来はこうであった。彼の母マリアは、ヨセフと婚約していたが、彼らと一緒にいる前に、聖霊から身ごもっていることが見いだされた。

Ⅱテモテ4:22 主があなたの霊と共におられますように。恵みがあなたと共にありますように。

B. クリスマン生活は、恵みの生活、恵みの経験でなければなりません。それによって私たちは、恵みの執事職、すなわち、恵みの分与を遂行することができます：

神のエコノミーにおける恵みの下での新約の信者たちの生活は、手順を経た三一の神を恵みとして経験する総合計の生活です。…総合計の生活は、私が起きていても眠っていても、一日二十四時間、三一の神を私の命また私のパースンとすることです。私は彼の行動に従います。私は彼と共に行動します。二つ霊は一つ霊となり、二つの命は共に生活し、二つの性質は共にミングリングされます。これが三一の神を恵みとして経験する総合計の生活です。

1. 私たちの言葉は、聞く人たちに恵みを伝えるべきです。

ルカ4:22 すべての人は彼を称賛し、彼の口から出る恵みの言に驚いて言った、「これはヨセフの息子ではないか？」。

エペソ4:29 腐敗した言をあなたがたの口から出すことなく、必要に応じて、建造するのに良い言だけを語り、聞く人たちに恵みを与えるようにしなさい。

イザヤ50:4 主エホバは私に、教えを受けた者の舌を与えて、疲れた者を言葉をもって、いかに支えるかを知らせられる。彼は朝ごとに私を呼び覚まし、私の耳を呼び覚まして、教えを受けた者のように聞かせられる。5 主エホバは私の耳を開かれた。私は逆らわず、退かなかった。

2. 召会生活の中で、私たちは恵みを受けるとき、召会は建造され、私たちの受ける恵みは、目に見えるものとなります。使徒4:33 使徒たちは大いなる力をもって、主イエスの復活の証しをした。そして、大いなる恵みがすべての者の上にあった。11:23 彼は到着した時、神の恵みを見て喜んだ。そして、心に決意して主にとどまるようにと、彼らをみな励ました。

C. キリストのからだの修行上の生活と建造は、神の恵みとしてのキリストを内側で享受することから出てきます：  
Iコリント1:9 神は信実です。この方を通して、あなたがたは彼の御子、すなわち、私たちの主イエス・キリストの交わりへと召されたのです。

クリスチャンの集会は、クリスチャンのパーティーであると考えられます。あらゆる集会は私たちにとってパーティーです。…私たちは聖徒たちと集会しているとき、とても幸いです。なぜなら、私たちの集会は積極的な意味でパーティーであるからです。

1. キリストの享受は、十字架の働きを通して、召会の中のすべての問題を解決します。

Iコリント1:18 十字架の言は滅びつつある者には愚かですが、救われつつある私たちには、神の力です。23 しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。彼はユダヤ人にはつまずきの石であり、異邦人には愚かであります。24 召されている者には、ユダヤ人にもギリシャ人にも、キリストは神の力、また神の知恵です。2:2 なぜなら、私はあなたがたの間ではイエス・キリスト、しかも十字架につけられたこの方のほかは、何も知るまいと決心したからです。

クリスチャン生活をすることは容易ではありません。私たちは日常生活と召会生活の中で多くの問題に遭遇します。これらの問題を解決する唯一の道は、キリストを享受することによります。

2. キリストの享受は、命の成長という結果になり、私たちを召会建造のための尊い材料として生み出します。

Iコリント3:10 私に与えられた神の恵みにしたがって、私は賢い建築家のように土台を据えました。そして他の人がその上に建てます。しかし、どのようにその上に建てるか、各自は注意しなさい。11 なぜなら、据えられている土台のほかに、だれも他の土台を据えることはできないからです。この土台は、イエス・キリストです。12 ところが、その土台の上に、人が金、銀、宝石、木、草、刈り株をもって建てるなら、13 それぞれの人の働きはあらわになります。なぜなら、かの日がそれを明らかにするからです。すなわち、それは火によって現され、その火自身が、それぞれの人の働きがどんなものであるかを証明するのです。14 もし、その土台の上に建てた人の働きが残るなら、彼は褒賞を受けます。

3. キリストの享受は、命の成長によって私たちの賜物を発展させます。

Iコリント12:3 こういうわけで、私はあなたがたに知らせておきます。神の霊の中で語っている者はだれも、「のろわれよ、イエス」とは言わないし、また聖霊の中でなければ、だれも「主イエス！」と言うことはできません。4 ところが、賜物には区別がありますが、同じ霊です。5 務めには区別がありますが、同じ主です。6 働きには区別がありますが、同じ神であり、彼はすべての人の中ですべての事柄を行なわれます。7 しかし、各自にその霊の現れが与えられているのは、人に益を得させるためです。8 ある者にはその霊を通して知恵の言が与えられており、またある者には同じ霊にしたがって知識の言が、11 しかし、唯一で同じ霊が、これらすべての事柄を行ない、その霊の意図するままに、それぞれ各自に分配されるのです。

D. 新契約の奉仕者は、苦難を通してキリストを彼らのすべてに十分な恵みとして享受します。新契約の務めは、啓示と苦難によって生み出されます：Ⅱコリント1:9 私たちは自ら、自分自身のうちに死という答えを持ちました。それは、私たちが自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するためでした。

1. 恵みとしてのキリストは、新契約の奉仕者の上に幕屋を張る力となり、彼らの弱さを影となって覆い、彼らの住まいとなり、彼らを保持し、支え、維持し、保護し、守ります。Ⅱコリント12:9 すると彼は私に言われました、「私の恵みは、あなたに対して十分である。私の力は、弱さにおいて完全に現れる」。ですから、私はむしろ自分の弱さを、大いに喜んで誇りましょう。それはキリストの力が、私の上に幕屋を張るためです。

2. 私たちは、私たちの行動と保護のために、キリストにある神の恵みを私たちに適用して、強さと力とする必要があります。イザヤ40:29 彼は弱った者に力を与え、活力のない者には強さを増し加えられる。30 若者も弱くなって疲れ、若い男も疲れ果てて倒れる。31 しかし、エホバを待ち望む者たちはその力を新しくする。彼らは、わしのように翼をもって舞い上がる。走っても弱ることはなく、歩いても疲れることはない。

E. 神の恵みとしてのキリストは、私たちが入り、享受し、経験し、あずかり、所有する良き地です。

F. 恵みとは、神聖な三一が私たちの中へと伝達されて、私たちの享受となること、また三一の神が父、子、霊という三つの面において具体的に現されることです：民6:24 「エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように。25 エホバが御顔をあなたの上に輝かし、あなたに対して恵み深くありますように。

26 エホバが御顔をあなたに上げ、あなたに平安を与えられますように。』

1. 主の恵みは、私たちの命としての主ご自身であり、私たちの享受となります。神の愛は、神ご自身であり、主の恵みの源です。その霊の交わりは、その霊ご自身であり、主の恵みと神の愛との伝達であり、私たちにあずからせます。Iコリント15:10 しかし、神の恵みによって、今の私があるのです。…私は彼らのだれよりも多く労苦してきました。しかし、それは私ではなく、私と共にある神の恵みです。

2. Ⅱコリント第13章14節で主の恵みが最初に述べられているのは、本書がキリストの恵みについてのものであるからです。Ⅱコリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

3. 聖霊は、キリストの恵みと御父の愛との循環、伝達であり、私たちのクリスチャン生活と召会生活の中の供給です：

a. 召会生活全体は、Ⅱコリント第13章14節にかかっています。

b. Ⅱコリント第13章14節で啓示されている、私たちの内側の神聖な三一の流れは、私たちの霊的命脈です。

G. 神のエコノミーにおける神の恵みの産物は、三一の神の詩としての召会であって、彼の恵みの卓越した豊富を、彼の無限の知恵と神聖な構想と共に展覧します。

Ⅲ. 新約時代を通して、彼の選ばれた者たちの中へと分与される主イエスの恵みは、新エルサレムにおいて究極的に完成します。その中で、手順を経て究極的に完成された三一の神は、すべての信者によって享受される恵みとなって、永遠に至ります。

## 経験：キャンパス・ライフ編

- ① 私たちは恵みを受け、恵みを享受しようとするなら、私たちの霊が恵みを経験することのできる唯一の場所であることを認識する必要があります。スイッチを入れてはじめて電気が適用され得るように、私たちは霊の中でのみ、動き、油塗るその霊と接触することができます。あなたは恵みを受け、恵みを享受したいなら、あなたの思いや、感情や、意志を活用してはなりません。そうではなく、あなたの霊に戻り、それを活用しなさい。
- ② 学校ではおもに、魂の中の思いと意志を訓練します。また、体育の授業では体を訓練します。しかし、召会生活はあなたが霊を訓練することを助けます。実は霊を訓練し、主の霊に触れ、満たされなければ、魂の中の思い、感情、意志は正常に機能することができません。したがって、召会生活の中で、霊を活用し、主の恵みを享受することは、理解力、集中力、忍耐力を引き上げることができるので、あなたの学業を向上させる素晴らしい秘訣です。勉強する時、魂を用いるだけであってはいけません。必ず自分の霊を活用して、思いを霊に付けて、主の恵みの享受と共に勉強するという秘訣を学んでください。そうすれば、あなたは恵みの中で、学業において、徐々に前進することを経験するでしょう。
- ③ すべてを含むキリストを享受することは、十字架の働きを通して召会における問題を解決します。私が意味する「十字架」は、キリストの死、特に彼の死の主観的な面です。今日私たちが享受するキリストはすべてを含む方であり、彼の存在の中に含まれているのは殺す死です。私たちは彼を享受する限り、消極的にではなく、積極的に殺されます。毎日私たちは彼を享受するとき、毎日殺されます。ある兄弟は別の兄弟にとても腹を立てているかもしれませんが、さらには憎しみに満ちているかもしれませんが、この兄弟がキリストを享受するとき、他の兄弟に対する彼の憎しみの病原菌は無意識のうちに殺されます。…この享受は、私たちの内側の病原菌を殺すことによって、私たちの問題を解決します。
- ④ 主を享受することは、スクール・ライフにおけるあらゆる問題を解決する秘訣です。クラスメイト、先生、両親との人間関係の問題、学業の成績が思ったように向上しない問題、ゲームに没頭してしまい、宿題を仕上げる時間がなくなってしまう問題、なんとなくやる気がなくなり、無気力になってしまう問題、将来についての不安が付きまとい、悩みで満たされる問題などのユニークな解決法は、キリストを享受し、あなたの中のあらゆる種類の病原菌（焦り、怒り、嫉妬、憎しみ、自分を欺くこと、反逆、無分別など）を殺すことです。キリストの享受は十字架の殺す働きをもたらし、あなたのスクール・ライフの中のすべての問題を解決することができます。
- ⑤ キリストの享受は、i) 十字架の効果をもたらし、問題を解決し、ii) 命の成長をもたらし、iii) 賜物(才能)を發展させ、iv) 召会を建造します。キリストの享受がなければ、召会生活、クリスチャン生活、恵みが共にあるスクール・ライフはありません。あなたは必ず「毎朝復興、日々更新」の生活を確立してください。毎朝少なくとも10分を聖別し、兄弟姉妹と共に御言葉を祈り読みしてください。霊的に食べなければ霊的に戦うことはできないのです。「腹が減っては戦はできぬ」はクリスチャン生活においても真理です。

詩歌376

1 めぐみとは御子にあり  
たまわるかれご自しん;  
事ぶつや環きょうでなく,  
主がわが分となること。

2 受にくし,神・人ちょう和し,  
ひとにかみを得させる,  
主はわがところに住む,  
これこそかみのめぐみ。

3 パウロは主をめぐみとし,  
すべてちりあくたとす;  
「主のためにろう苦すは,  
われでなく,主のめぐみ」。

4 わがうちで主はちから,  
真のめぐみ,しんらいす;  
めぐみ,わがれいにあり,  
みこころじょう就させる。

5 このめぐみ,生ける主は,  
ちからづけ,かえりみる;  
いちずになれをしたい,  
さらに享受させたまえ。

Hymn 497

1 Grace in its highest definition is  
God in the Son to be enjoyed by us;  
It is not only something done or giv'n,  
But God Himself, our portion glorious.

2 God is incarnate in the flesh that we  
Him may receive, experience ourself;  
This is the grace which we receive of God,  
Which comes thru Christ and  
which is Christ Himself.

3 Paul the Apostle counted all as dung,  
'Twas only God in Christ he counted grace;  
'Tis by this grace-the Lord experienced-  
That he surpassed the others in the race.

4 It is this grace-Christ as our inward strength-  
Which with His all-sufficiency doth fill;  
It is this grace which in our spirit is,  
There energizing, working out God's will.

5 This grace, which is the living Christ Himself,  
Is what we need and must experience;  
Lord, may we know this grace and by it live,  
Thyself increasingly as grace to sense.

1 神所賜恩典,最高的定義,  
是神在子裡,所給的自己;  
不重在事物,賜於古或今,  
乃是神自己,作我的永分。

2 神成為肉身,來與人調和,  
為給人接受,而將祂得著;  
人藉主從神,所得的恩典,  
就是主自己,來住我心間。

3 在使徒保羅,萬事如糞土,  
恩典之於他,只是神基督;  
乃藉這恩典-他所經歷主,  
他為主勞苦,超過眾使徒。

4 基督在我裡,作我的能力,  
乃是真恩典,穀為我賴倚;  
這穀用恩典,在我的靈裡,  
時常加我力,完成神旨意。

5 這恩典就是,那活的基督  
作我的一切,時將我眷顧。  
主,願我認識,你這真恩典,  
享你作恩典,一直的增添。